

SDGs 未来都市豊島区

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は、2015年9月の国連サミットで採択され、2030年を年限とする17の国際目標と169のターゲットで構成されています。豊島区は、令和2年7月17日、内閣府より、SDGsへの優れた取組を行う自治体として「SDGs未来都市」に選定されました。本計画の理念は、SDGsが掲げる目標およびターゲットのうち、目標3「すべての人に健康と福祉を」の部分に合致します。本計画の推進が、SDGs達成に向けた取組みの推進へつながります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



計画の推進に向けて

計画期間：5 年間
令和3 (2021) 年度～令和7 (2025) 年度
中間年に進捗管理を実施します。

豊島区がん対策推進計画〈第3次〉概要版

令和3 (2021) 年3月編集・発行

豊島区保健福祉部地域保健課がん対策・健康計画グループ 電話03-3987-4243

豊島区ホームページ www.city.toshima.lg.jp

豊島区のがん対策

検索



豊島区がん対策推進計画 〈第3次〉

概要版

令和3 (2021) 年3月改定



がんによる早すぎる死を防ぐために ～豊島区のがん対策～

がんは依然として区民の死亡原因の1位となっています。この現状を踏まえて平成22年度に「豊島区がん対策推進条例」を制定しました。その具体的な施策の実現のため、平成23年3月に「豊島区がん対策推進計画」を、平成28年3月に「豊島区がん対策推進計画」(第2次)を策定しました。そして、このたび第2次計画の最終年度を迎えたことから、新たな課題や社会情勢の変化等に対応した取り組みを進めるために計画の改定を行い、新たに、第3次計画を策定いたしました。

今回の改定では、従来の3本柱に加え、4つ目の柱として、「ライフステージに応じたがん対策」を新たに盛り込み策定いたしました。

基本理念

がんに対する理解と関心を持ち
健康的な生活習慣を実践しながら
地域で暮らしていけるまちづくり

がん対策の推進における4つの柱

がん検診の推進

がん患者と家族の支援

がんの予防・普及啓発

ライフステージに応じたがん対策



がん検診受診推進キャラクターももか

がん対策の推進における4つの柱～分野別施策～

1 がん検診の推進

がんの早期発見・早期治療のため、がん検診の受診率の向上をめざします。

1. 実施すべきがん検診
2. がん受診率の向上
3. がん検診の質の向上
4. 検診受診率向上に伴う財政負担の想定



2 がんの予防・普及啓発

がんに対する理解と関心を深められる普及啓発を実施し、がん予防への取り組みを推進します。

1. がんに関する正しい知識の普及
2. 生活習慣の改善
3. がんの発症予防及び前がん状態での早期発見
4. 喫煙による健康被害の予防



3 がん患者と家族の支援

がん患者と家族の支援を行い、住み慣れたまちで安心して暮らせるしくみづくりをめざします。

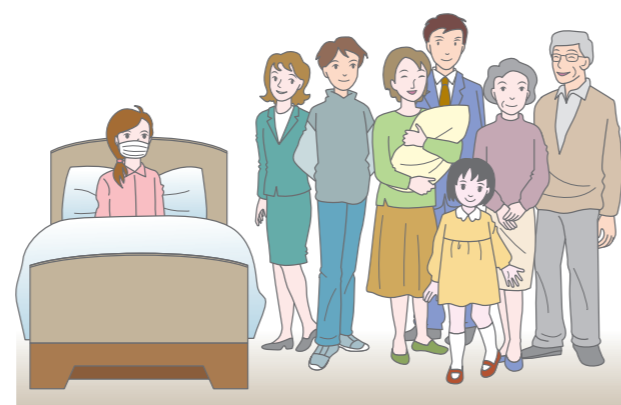
1. がん情報に関する情報提供
2. がん患者や家族の不安軽減
3. 緩和ケアとがん地域医療連携の推進



4 ライフステージに応じたがん対策

ライフステージに応じたがんに対する支援を行い、時期に応じた適切な治療や支援を受けられるしくみづくりをめざします。

1. 小児・AYA世代に対する支援
2. 働く世代に対する支援
3. 高齢者に対する支援



重点施策

1 がん検診の推進

がんは早期に発見し早期治療を行えば、完治することも可能です。自覚症状が現れにくいがんの早期の段階で発見し、早期治療に結びつけるためには、がん検診を定期的に受診することが重要です。



2 児童・生徒へのがんに関する教育



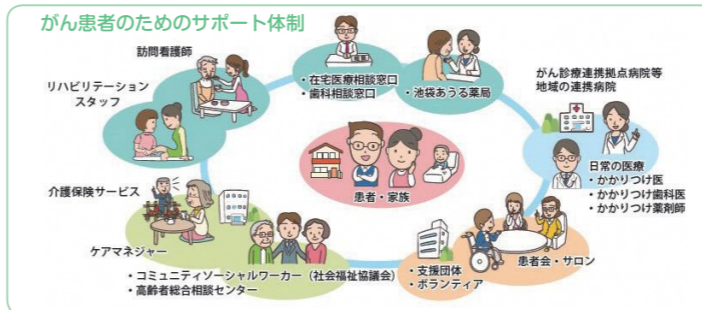
学校における健康教育の一環として、児童・生徒ががんについて学ぶ機会を設け、成人してもがんの予防につながる健康的な生活を送ることができるよう、がんに関する正しい知識の普及を推進します。

3 喫煙による健康被害の予防

喫煙は、肺がん・喉頭がんの原因であるばかりでなく、様々な病気の原因となっていることから、禁煙対策は重要な課題です。また、受動喫煙防止対策についても取り組みをすすめていきます。



4 がん地域医療連携の推進

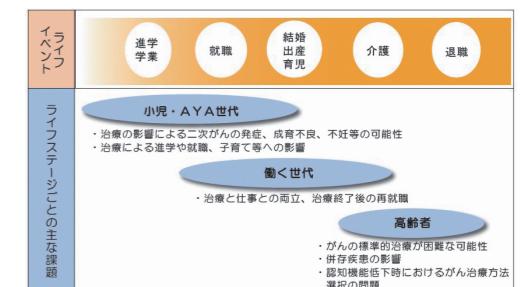


「豊島区みんなのためのがんサポートガイド」より

がんや緩和ケアに関する情報提供を行い、治療方針などを選択できるように支援します。また、がんになっても質の高い療養生活を送ることができるよう、多職種による地域医療連携のネットワーク構築を推進します。

5 小児・AYA世代、働く世代、高齢者の支援

がんは、特定の世代に発症するわけではありません。また、年代に応じて、がん患者のライフステージごとの特徴や課題は異なります。このため、個々のライフステージに応じた支援を推進します。



「東京都がん対策推進計画（第二次改定）」より